
一番近き愛しい人よ

カービー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一番近き愛しい人よ

【NZコード】

N7602A

【作者名】

カービー

【あらすじ】

彼らは兄妹だった。親に分かってもらおうと一生懸命だったが、二人は引き離される運命に陥る……。

愛し合つた兄妹……。彼らは愛し合えない存在だった。それは”血の繋がつた兄妹”だつたから。

いつものように”好き”と言つて体を重ね合つていた妹、歩美と兄、謙太。今日も体を重ね合つた。

「痛くない？」

「うん……」

愛あしくて、離れたくないくて……。こんな禁じられている恋がいつまでも続くと思っていた。体を重ねる事で兄妹は一つになれる。もちろん日本から離れれば一緒に”恋人”として住めることを本気で望んでいた謙太。

「何してるの？」

体を重ね合つている自分の兄妹を見て、ショックのあまりに涙を流す母親のなんとも言えない顔が謙太と歩美の心臓に酷く響いた。

「お母さん　」

歩美と謙太は涙を浮かべながらベッドから落ちていた服を着る。こんな現場を見られたら不安で神経がおかしくなりそうな二人だった。

「来なさい」

母親に言われるがままに、台所のイスに座らせられる一人。父親も一階から下りてきて、静まりかえる空氣の中。何故こんな緊張な空氣が張りつめているのか、父親が母に訳を聞いたら、父は怒り狂つて兄の謙太を拳で強く殴る。

「何やつてんだお前は…！ 歩美も歩美だぞ」

「うう……『めんなさい』

泣き崩れている母親。そしてそれ以上に泣き崩れてもはや”『めんなさい”が言葉にならない歩美を見るのが謙太は、とても辛かつた。

「俺たち愛し合つてるんだ！」

謙太のその言葉を聞いた歩美も涙を拭き、分かつてもう一つと一生懸命”愛している”事を囁く。

たが、分かつてくれるはずもない……。翌日父と母は覚悟を決め、離婚届の紙を記入していた。それを見た歩美と謙太の感情が一気に漏れる。

「何で別れるんだよ。分かつてくれよ」

「分からぬわよー あなた達は兄妹なのよ。『うするしか方法はないの』

そう言って記入を済ませ、母親は荷物をまとめた。

「何やつてるの謙太。あなたも早く荷物まとめなさい」

言い返しきれない謙太は、ゆっくりと荷物をまとめた。歩美はただ泣くことしかできなかつた。“禁じられている恋愛”好きな人と一緒になることはできないのかと一分一分一人は同じ事を思つていた。

「じゃあな、歩美。また、何処かで逢えたら、その時は俺と普通の兄妹として接してくれよな」

「謙太。お……お兄ちゃん」

去つていく謙太の背中。遠くなつていく好きな人。何度も行かないでと歩美は思つただろうか。

「歩美、元気でね」

そう言つて母と謙太は家から出て行つてしまつた。それからといふもの、歩美は立ち直る事ができず毎日ずっと泣いていた。目が覚めると一瞬だけいつも、謙太の笑つた顔が映る。

あれから5年。歩美も謙太もあの時の事は心にしまい、働き出していた。完全に忘れた訳ではないけれど、歩美も謙太にもお互いに好きな人ができ、幸せな日々を送つていた。

「いたつ」

いきなり街でぶつかってきた男を歩美は睨みつけた。何処かで見た事ある顔……謙太だった。謙太も一瞬で歩美に気づいた。

「歩美……歩美だろ？ 元気か？」

「け……謙太！」

やつと逢えたというばかりに、謙太も歩美もお互いその場で抱きついた。一度と逢えないと思っていたお互い。今度はちゃんと兄妹として逢える事ができた。

「好きな人できたか？ 歩美」

「うん……謙太は？」

「俺もできたよ」

少し寂しい会話が一人の間で流れていた。でもこれが”兄妹”これが普通の”兄妹”の会話なんだ。一人はそう思いながら悲しい感情をぐつとこらえ、微笑みあつた。

「また逢える？また……今日みたいに兄妹として」

「うん」

二人は、携帯のアドレスと番号を交換して別れた。少し不安はあるけれど、お互いの悩みを心の底からぶつけられる最高の兄妹になりたいと、歩美も謙太も思っていた。

大好きな愛しい人。絶対に憎む事なんてできない。あの時の事を後悔なんてしていいない。正しい手段だったハズだから。これからは兄妹として側に居れたらいいなと一人は思いながら今日も逢う。

” 血の繋がっている兄妹としてあなたの側にいさせてください ”

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7602a/>

一番近き愛しい人よ

2011年1月16日00時24分発行